PICKIN' SINGIN' GINZA Rocky Top かわら版 第52号

'00、3、13 発刊

Yeah! マネージャー No11

～犬になるの巻①～ 作 チーフ井上

拝啓 March

3月になりました。もういいかげん寒さも逃げていく頃ですね。夏を待ち切れずにブルーグラスのコンサートが各地で行われるようです。

春よ来い、早く来い!ね、マスター。

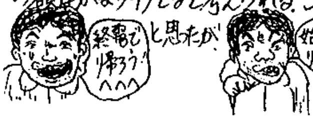
今月の田口マスターの動き

衝撃のオービスは忘れた頃にやってくる!—もしかして免取?—

想像図

2度にわたる駐禁で免停確とみられていた田口マスターだが、今回もっとショッキングな事件が起きた。昨年7月にあった千葉フェスにロッキートップの後、向かう途中、湾岸線の行徳をすぎた頃か…パシャ!!とオービスが光った。明らかに、やられた!と分かる光。まさに I Saw The Lightと同乗していたチーフ井上も突然の光線にビールをこぼす始末…

しかしその後何の連絡もなくダミーだったのでは?と安心してすっかり忘れ果てていた。今年2月、東京トヨペットから、この件を告げる地獄の電話がかかってきた。ちょうどこの時車の修理中で代車を使ってたため、ここまで通告が遅くなったわけだが、140kmを越えるスピードだっただけに、減点、そして罰金の額はかなりイッてると考えられる。ことによっては免取もありえるようだ。そしたら



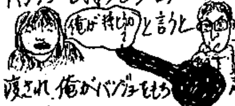
と思ったが、と言われて納得した。やはり厄年だ。こわいですね——!

このコーナーもつきることがありません。

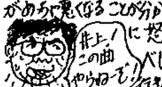
チーフ井上の旅日記

—フォークゲリラ関西ツアーの巻—

ファーストCD「100万回愛してる!!」をリリースして初の関西ツアーに行ってきました。色んな人達のお世話になり旅は道づれ世は情をしみじみと感じました。そしてメンバーの素顔が浮きぼりになる旅でした。
バンジョー越田は28才にして老衰が始まってるらしくバンジョーを持って歩くのがつらいのだった。



と言うと と何のためらいもなく渡され、俺がバンジョーをもち越田がマンドリンをもって歩くことになった。フィドルの山崎さんは空腹になると機嫌がめちゃ悪くなることが分かった。めしを食う前のリハの時など急に



に怒りまくったが、その後ラーメンを食べに行った後は、ニコニコしていた。行きの新幹線の中では自ら持参したおにぎり3つにおかず崎陽軒のしゅうまいを平らげ横にいた越田に

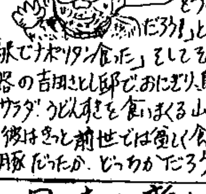
と気持悪がられる。

そして3日目の滋賀のコンサートで山崎さんとは別行動して八日市で昼12時頃待ち合わせた。

すると口の周りに赤いものをつけている。「何か食っただろう!」ときくと「ばれたか!駅でナポリタン食った」そしてその30分後、くらま楽器の吉田さとし邸でおにぎり、鳥肉の煮つけ、ポテトサラダ、うどんすきを食いまくる山崎さんの姿があった。彼はきっと前世では貧しく飢えた人だったか、豚だったか、どっちかだろう つづく…

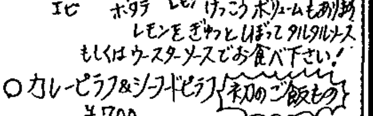
ロッキーに新メニュー登場!!

○シーフードフライ盛合せ ¥900



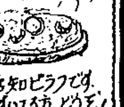
◎ワインとも合いそうな一品。イカリング、エビ、ホタテのフライに、わかめ、かきのくんせいも添えたヘルシーな海の幸。けっこうボリュームもありあり。レモンをぎゅっとしぼってタルタルソースもしくはウースターソースでお食べ下さい!

○カレーピラフ&シーフードピラフ {初のご飯もの} ¥700



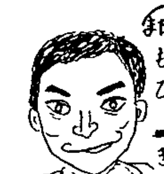
◎絵で書いても無駄なんですが、ご存知ピラフです。エビ、イカも入っておいしいですよ。お腹すいてる方どうぞ!

○只今、オリジナルジャンバラヤ開発中!乞ご期待!



ブルーグラスな人達 ～Meet The Bluegrass～

(またはボサノバ)



ブルーグラスとの出会いを通してブルーグラスを考察するこのコーナー、今回はバンジョー弾きとしても日本屈指の腕を誇り、さらにスチールギター、ボサノバギター、ショーロのマンドリンと様々な楽器を驚異的なテクニックで弾きこなす**中沼 浩**さん(37)に話をうかがった

バンジョーに一目ぼれ!

→幼少の頃お医者さんに「**このままではいずれ耳がきこえなくなるだろう**」と宣告される。不びんに思った母は、耳がきこえなくなるまでの間でも音楽に触れさせようと思い、ピアノを習わされる。4・5才の1年通ったのだが、おもしろくなくてやめてしまう。しかも耳も大丈夫で、医者のガセネタにやられてしまった。しかしピアノのおかげで音感やコピー能力がついたようです。その後小学校高学年ぐらいから**平凡の歌本**を見てギターをつま弾くようになる。初めて弾いた曲は「**瀬戸の花嫁**」。そして その頃**ビル・モンローが来日した**。テレビにも出演「**シオノギミュージックフェア**」という番組に出たのを中沼さんは熊本のわが家で見ていた。もともとバンジョーの音に興味があった中沼さんにとって、それは衝撃だった。**まさに一目ぼれ!** これだ!これしかない!いつか弾くぞーと固く決意した。そして中学ではビートルズの洗礼を受け、エレキを持ってビートルズバンドを始めた。パートはジョージ役。しかし心の中には常にバンジョーへの憧れがうずまいていた。当時透明な下じきにアイドルの写真を入れるのがはやっていたが、中沼さんは何と**バンジョーの写真を入れていた!** そして高校生になり夢のバンジョーを手に入れる。全くの独学でやり出す。その後島根の高校に転校。何とそこに同学年でブルーグラスバンドが1つあったのだ!彼らはとてもうまく、また初心者だった中沼さんは色々と教えてもらった。しかしそのバンドに加入はせず、文化祭ではジミヘンバンドのギターをやったりしていた。そして東京工大に見事合格し東京にやって来る。憧れのブルーグラスサークルがあったのだが、**あまりの暗さ**に素通りしてしまう。2・3カ月悩んだのち、まぁやってみよーと入部。2年生になってようやく「**グラシック ホイホイバンド**」という初のブルーグラスバンドを結成した(ベースは黒川さん)。そして2年間真剣にブルーグラスをやったのだが、いつも「**かっこ悪いなー**」と思っていた。**フェリス女学院**の学祭にロックバンドとかとまじって出演し、すっかりしらけて浮いてしまったりして何だかおちこんでいた。そんな時、青山学院でのユニグラスコンサートに出演。そのラストに出てきた長髪で**めちゃくちゃなローハイドのギター**をぶっ飛ばしながら弾く男、それが**鈴木タック**さんだった。2人は意気投合し「オリジナルをやるバンドを作ろうぜ!」ともり上がり、そしてできたのが**ヒアーズ・フォー・ゼアーズ**だった。20才の頃は人前ではバンジョーしか弾かない!と決めていたのだが、20代後半からもともと好きだったボサノバのギターもはじめライブもやり出す。その後はハートランドのスチールギター、最近はショーロのマンドリンとこなしていくが、「新しい楽器やジャンルを始めると新しい友達ができるのが何よりうれしい」とのこと。またバンジョーに還元できるヒントが見つかるというのも良い。これからの抱負としてはどんなスタイルであろうといい音楽を作り聴く人に**感動を与えたい!**とのことです。→3/30(木)ロッキーMCクライマーズで出演します。

Pick Up ライブ!

3/4(土) チーフ井上とフォークゲリラボーイズ トイメンシャオ

日本語ブルーグラスの決定盤フォークゲリラ、バンジョー冒険家原さとし、インド冒険家Jubayのユニット、トイメンシャオ どちらも昨年末CDを出したばかりでのりにのっております。オリジナルな世界へどうぞ!

3/15(水) テキーラサーキット

久々のロッキートップ。文句なしのかっこ良さ。70年代のロックフォーク、そしてカントリー、ブルーグラスをやらしたら日本一!